

清洲城觀覽記念



◆清洲城天主閣◆

清須市の郷土の英傑・織田信長公の天下取りの出発点であり、戦国の世を終結させ、天下平定を目指す武将が重要拠点としていた清須城。平成元年に現在の場所に「清洲城天主閣」として再建整備されました。

◆「天主」と「きよす」の表記について◆

「天主閣」の表記に関しては、現在通常使われる「天守閣」の語源にさまざまな説があり、「殿主」「殿守」「天主」などの表記が確認されています。信長公の事績を記した「信長公記」に「天主」と表記されていることから、再建にあたり「天主閣」の字をあてることにしました。また、この城の名や地名は、歴史的には長く「清須」の字があてられており、明確な基準が存在しなかったころには同時代の古文書でも「清須」「清洲」が併行して使用されている例があります。

当館では、展示上の混乱を避けるため、展示要素に関する表記は、下記の基準に基づいて解説いたしております。

- 慶長15年(1610)の「清須越」以前に登場する地名、施設としての名称は「清須」「清須城」「天守閣」と表記。
- 「清須越」以降から平成17年(2005)清須市誕生以前の宿名、村名、町名は「清洲」と表記。
- 当施設の名称として使用する場合「清洲城」「天主閣」と表記。